

# 10月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1  
T e l 0 5 2 ( 6 7 1 ) 4 1 5 3 F a x 0 5 2 ( 6 8 1 ) 0 5 3 8

公式HP



## お氷上さんの例祭

氷上姉子神社例祭

10月2日(日)

午後2:30

氷上姉子神社(境外摂社)

祭典・神事

摂社氷上姉子神社は、仲哀天皇4年の御創建と伝えられ、日本武尊の御妃である宮簀媛命(みやすひめのみこと)をお祀りしています。当日の行列は新型コロナウイルス感染症対策により中止ですが、露店の出店はございます。



○例祭に先立って 尾州久田流 家元のご奉仕にて、2日午前10時より献茶式が執り行われます。お問い合わせは氷上姉子神社(052-621-5935)まで。

## 秋の稔を感謝して

新嘗(にいなめ)祭 並 神嘗(かんなめ)奉祝祭

10月17日(月)

午前10:00

本宮・別宮・摂末社

祭典・神事

このお祭りは新穀を神々に捧げ収穫を感謝し、併せて伊勢の神宮で斎行される神嘗祭を奉祝するもので、本宮・別宮をはじめ摂末社43社で行われます。

当日は熱田神宮の附属団体豊年講の講員より、約2tもの新穀が庭積神饌として供えられ、講員代表が祭典に参列します。



## 珍しい韓神舞と烏喰の儀

御田神社新嘗祭

10月17日(月)

午後2:00

御田神社

祭典・神事

このお祭りでは、榊の枝を両手に持った神職が独特の所作をする「韓神舞(からかみのまい)」が奉じられます。

また、祭典の前には、「ホーホー」と唱えながらお供物を土用殿の屋根に投げ、鳥にお供物を食べさせる所作をする「烏喰(おとぐい)の儀」が行われます。古くは鳥が飛んできてお供物を食べなければ、祭典が始まらなかったと伝えられています。

○御田神社は、五穀豊穡の神である大年神(おとしのかみ)をお祀りしています。





## 商売繁盛を祈って

熱田恵比須講社大祭

10月20日(木)

午前10:00

上知我麻神社

祭典・神事

摂社上知我麻神社・末社大国主社・事代主社を崇敬する人々で構成された、熱田恵比須講社の大祭を上知我麻神社で執り行います。

当日は講員が多数参列し、祭典終了後には福引等の行事が賑々しく行われます。



○入講料(年間) 特別名誉講員3,000円・名誉講員2,000円・特別講員1,000円をお納め頂いております。  
入講ご希望の方は、是非とも下記へお問い合わせ下さい。  
講務課 (052-671-4154)

## 熱田の杜で七五三

七五三特別祈禱

午前8:30～午後4:00

行事

七五三の祝いは一説によると、「七歳までは神の子」と言われていたように、子供の霊魂は不安定で、しっかりした子になるよう繰り返し祈願することが習慣となっています。お子様の健やかな成長と将来の幸福をお祈りします。七五三特別祈禱は12月初旬までご奉仕致します。



## 献茶式

熱田神宮献茶会 秋季大会献茶式

10月15日(土)

午前10:30

神楽殿

行事

本年は、表千家 堀内宗完宗匠がご奉仕し、御神慮を和め奉るとともに斯道の繁栄を祈願します。



○熱田神宮献茶会は、茶道を通じての神徳宣揚を目的として、昭和22年に茶道各流派により結成された会です。



## 献花式

熱田神宮よもぎ花道会 秋季献花式

10月15日(土)

午後2:00

神楽殿

行事

御神前で花を生けてお供えし、御神慮を和め奉ると共に斯道の繁栄を祈願します。

本年は、日本生花司松月堂古流 林勝義氏のご奉仕です。



○熱田神宮よもぎ花道会は、花道を通じての神徳宣揚を目的として、昭和24年に花道各流派により結成された会です。

## 古より受け継がれし伝統儀式

弓馬術演武奉納・流鏑馬奉納

10月15日(土)

午前11:00～正午

神楽殿前

行事

弓馬術礼法小笠原教場31世宗家清忠氏他門人の皆さんが「墓目之儀(ひきめのぎ)・百々手式」を奉納します。小笠原流は古く応保2年(1162年)初代長清より始まり、鎌倉幕府将軍家の糾方(きゅうほう)師範として、流鏑馬をはじめ大的式・百々手式・草鹿式などを考証し、新しい武家儀式を制定されました。



○小笠原流の皆さんは、全国神社において種々の武家儀式を奉納しています。  
(小笠原流ホームページ : <http://www.ogasawara-ryu.gr.jp>)

## 秋季企画展

「熱田神宮名品展 ～連綿と伝わる当神宮の御宝物～」

9月30日(金)～10月25日(火)

午前9:00～午後4:30

宝物館

宝物展示

熱田神宮は平成25年に御創祀1900年の慶節を迎え、この長い年月の間、御祭神に捧げられた品々はおよそ6000点にも及びます。本展ではこれら豊かな歴史を持つ御宝物の展覧を通じて、当神宮への厚い信仰、日本の伝統文化の素晴らしさをご理解いただければと存じます。

主な展示品【国宝】短刀 銘 来国俊/正和五年十一月日

【重文】太刀 銘 則国【重文】脇指 銘 長谷部国信

【重文】木造舞楽面 陵王(展示品数 約70点)

○入館料 ・大人700円(600円)、小中学生300円(200円)  
【両館共通券 大人1000円、小人400円】  
・入館は午後4時00分まで  
・団体割引あり。詳しくは文化課(052-671-0852)まで





## 剣の宝庫 草薙館 刀剣展

「備前の名刀」

9月28日(水)～10月24日(月)

午前9:00～午後4:30

剣の宝庫 草薙館

刀剣展示

当館は真柄大太刀含め、名刀10数口の他、関連史料の展示、また実際に真剣や真柄大太刀の重さを知ることのできる体験コーナー、映像ブースも兼ね備えております。

主な展示品

【重文】太刀 銘 長光

【重文】剣 銘 為清

・脇指 銘 備前國住長船祐光 享徳三年二月吉日

・刀 銘 則光

他

- 入館料 ・大人500円、小中学生200円  
[両館共通券 大人1000円、小人400円]  
・入館は午後4時00分まで  
・団体割引あり。詳しくは文化課 (052-671-0852) まで

